ひめゆり平和祈念資料館

資料館だより

第67号

2021.6.23

ひとつめの展示室「ひめゆりの学校」。相思樹並木をくぐり抜ける生徒たちの絵が出迎え、学校生活を伝える空間が広がる

もくじ

ひめゆり平和祈念資料館　リニューアル特集 1

「戦争からさらに遠くなった世代」へ伝えるために／元ひめゆり学徒・財団役員内覧会／リニューアルオープンセレモニー／新展示紹介／証言員オンラインインタビュー／リニューアルへの反応／リニューアル記念特別展 開催中／New !!『ひめゆり平和祈念資料館 ブックレット』

資料館トピックス 6

沖縄県主催「ぴーすふるシンポジウム」に館長登壇／第41回 沖縄タイムス出版文化賞 特別表彰受賞／「第3回 "ひめゆり" を伝える映像コンテスト」選考結果のお知らせ／「特別展　ひめゆりとハワイ」今秋開催

2021（令和3）年度のイベント・事業／コラム　相思樹 8

統計に見る2020年度／ご寄付ありがとうございました 9

本棚（仲程昌徳） 10

資料館ガイド 11

新型コロナウイルス感染症予防対策を行っています

マスク着用・手指消毒・検温に
ご協力ください

ひめゆり平和祈念資料館 リニューアル特集

2021 年 4 月 12 日、当館は、2004 年以来 2 度目のリニューアルを行いました。
「戦争からさらに遠くなった世代へ」をテーマに、若い世代に伝えるためのさまざまな工夫を積み重ねてきました。今号は、リニューアル特集号とし、リニューアルオープンの様子や、新しい展示についてご紹介します。

「戦争からさらに遠くなった世代」へ伝えるために

館長　普天間朝佳

ひめゆり平和祈念資料館は、財団法人 沖縄県女師・一高女ひめゆり同窓会が建設し、運営してきた民間の平和博物館です。

開館後、元ひめゆり学徒の皆さんは戦争体験を伝える活動を始め、資料館のあらゆる仕事に携わってきました。そして、70 代になった 2000 年頃から、自分たちがいなくなっても、沖縄戦やひめゆり学徒隊のことを伝え続けていくために、次世代継承の取り組みを始めます。自分たちの証言を映像記録として残す作業、2004 年の 1 回目のリニューアル、2005 年以降の後継者育成、そして、今回 2021 年の 2 回目の「開館 30 周年記念リニューアル」です。

担い手が戦後生まれの世代であるということは、今回のリニューアルの大きな特徴の一つです。資料館設立時も、2004 年のリニューアルも、元ひめゆり学徒の皆さんが中心となって担ってきましたが、今回のリニューアルは、私たち戦後生まれの職員が中心となって進めました。

沖縄戦とひめゆり学徒隊の体験をどう表現するかを試行錯誤し、元ひめゆり学徒の皆さんにも何度も確認してもらい、議論を重ねました。今回のリニューアルもまた、重要な次世代継承の取り組みとなりました。

リニューアルのテーマは「戦争からさらに遠くなった世代へ」。

開館から 30 年以上が経ち、資料館を訪れる若い世代は、もはや祖父母にも戦争体験がなく、身近にほとんど戦争体験者がいない世代となっています。そのような世代にも伝わる展示をつくることが目標です。多くの皆さまのご協力もいただき、素晴らしい展示になったのではないかと自負しております。

当館に寄せられる感想文の中に、展示を見ても話を聞いてもピンとこない、という言葉が見られるようになりました。戦争から何十年も経つと、風化していくのは仕方のないことかもしれませんが、大切なのは、あらゆる機会を通して、繰り返し繰り返し戦争体験を振り返り、戦争にならないためにはどうしたらいいかを考えることだと思います。

戦争を知らない世代も、きっかけや入口さえあれば、興味を抱き関心を持ってくださいます。私たちの役割は、いろいろな方法でそのきっかけづくりをすることだと思っています。

今回のリニューアルも、そのきっかけの一つになればと願っております。

新型コロナウイルス感染症が落ちつきましたら、ぜひ多くの方々に、新しく生まれ変わったひめゆり平和祈念資料館を訪れていただきたいと思います。職員一同、心よりお待ちしております。

元ひめゆり学徒・財団役員内覧会

オープン前日の 4 月 11 日、元ひめゆり学徒、財団役員の内覧会を行い、古賀徳子学芸課長の案内で、約 1 時間かけて各展示室を回りました。

展示を見て感想を言い合う元ひめゆり学徒

第 1 展示室では、相思樹並木の絵に迎えられ、「私たちの学校に入っていくみたいだね」という声があがり、展示を見ながら、戦前の女師・一高女での学校生活を懐かしんでいました。

全体を通して、イラストなどを使い、理解できるようになっている、生徒たちの心の動きまでも入っている、などと感想が聞かれました。見学の最後には、伝わる展示をつくってくれたと、職員や展示制作の関係者へ拍手が起こりました。

リニューアルオープンセレモニー

4 月 12 日 10 時より、来賓と関係者をお招きし、オープンセレモニーを行いました。普天間館長の挨拶のあと、古賀徳子学芸課長がリニューアルについての説明を行い、評議員儀部和歌子氏から祝辞をいただきました。テープカットを合図に、開館を待っていた方々が入館し、熱心に展示を見学していました。

コロナ禍でのオープンということで、セレモニーの規模は縮小せざるを得ませんでしたが、お天気にも恵まれ、幸先の良いスタートを切ることができました。

←左から古賀徳子学芸課長、普天間朝佳館長、岡部憲明アーキテクチャーネットワーク代表岡部憲明氏、評議員仲田美加子氏、仲程昌徳理事長、我那覇亮司事務局長

開館を待ちかねていた人々

リニューアル特集
戦争からさらに遠くなった世代へ

ひめゆりの学校

相思樹並木をくぐって登校するひめゆりの生徒たちを描いた絵が
出迎えます。生徒たちの生き生きとした学校生活を伝えると同時に、
戦争に向かう当時の教育、戦時下の学校生活を紹介します。

ひめゆりの戦後

第 5 展示室に「ひめゆりの戦後」を新設。
生き残ったひめゆり学徒の戦後の思いや、ひめゆり平和祈念資料館
開館とその後の活動を紹介します。

新しくなったひめゆり資料館をご紹介します

ひめゆりの戦場

生徒たちが置かれた戦場での過酷な活動の実態を、イラストや動画、証言映像、実物資料、陸軍病院壕の模型などを通して伝えます。

ロビーに新設した導入展示

証言映像に英字幕を追加

映像作品が視聴できるビデオコーナー

伊原第三外科壕の内部の映像を設置

リニューアル後の資料点数	
①実物資料（複製含む）	89 点
②写真（遺影含む）	300 点
③イラスト	27 点

証言員オンラインインタビュー

内覧会終了後、証言員へのオンラインインタビューが行われ、本村つる、島袋淑子、仲里正子が報道陣の質問にこたえました。

新しい展示への感想について、仲里証言員は「写真やイラストなどを使い、丁寧に伝わるような工夫がされていて、細かいところまでよく分かる展示になっていると感心しながら見ました。」と述べました。また、若い世代に伝えることについて、島袋証言員は「戦争を知らない人たちが分からないことが分かるような展示に変わっていて、あ、これなら分かるかも知れない、という気持ちで見ました。」と、仲里証言員は「戦争を知らない人たちに伝えるのは難しいけど、今度の展示には生徒の心の動きまで入っています。この資料館を見れば、戦争ってこんなに大変だなと分かってもらえる展示になっているという思いです。」とこたえました。

最後に、新しい資料館の果たす役割を問われた本村証言員は「まず平和。戦争のない世の中になってほしい。小さいときの平和教育がとっても大事ということ。命を大事にすること。世界の人みんなが平和な世の中になってほしいということ。これが、この資料館の大きなテーマです。このテーマを世の中に広げていってもらいたいと思います。」と今後の館の活動への期待を込めました。

第 6 展示室でこたえる証言員

画面越しのインタビュー

多くの報道陣が集まった

リニューアルへの反応　リニューアルした展示への来館者の感想を一部抜粋してご紹介します

- 一つの日常が「戦争」という一つの出来事で、跡形もなく崩れてしまったと思うと涙が出そうになりました。リニューアルしたと聞いて、思った事が「戦争の記録を身近に感じられた」という事でした。絶対に忘れません。（沖縄県　14 歳）
- より今を生きる私達に伝わりやすくなっており、あの戦争に巻き込まれていった様子がリアルに感じられました。（沖縄県　47 歳）
- 絵や写真もかなり増えて、“ 沖縄戦の犠牲者 ” ではなく、“ 当時の学生 ”“ 一女性 ” としてのひめゆり学徒の方々の側面にもより着目して見学することができました。（沖縄県）
- 以前とくらべて明るくなった印象です。戦争前の生徒さんの学園生活が、今の時代、私達の学校へ通っていた時代と何ら変わらないなあ～と思いました。生徒さんの写真をみて、ほほえましく思ったりしたのは、これまで数回通った中でも初めてでした。（沖縄県　45 歳）
- 写真、文字も大きくわかりやすく、当時の状況を共感しやすい臨場感があり、迫力ある内容です。（沖縄県　74 歳）
- 最後の “ 体験者が少なくなっていくが、戦後生まれの職員にうけつがれていく…” の言葉は、私たち資料館を訪れた者たちの言葉でもあります。（沖縄県）
- 戦後・収容所のコーナーが、今、戦争を知らない世代にとっては一番寄り添うべき内容が詰まっていた気がします。（沖縄県）

リニューアル記念特別企画展　開催中

リニューアル記念特別企画展として、「モノが運ぶ物語（ストーリー）」と「平良孝七が撮ったひめゆり学徒たち」を第 6 展示室で開催しています。リニューアルに際し、改めて女師・一高女関連の資料提供を呼びかけ、それに応じて寄せられた資料を中心に、当館所蔵の資料の一部もあわせて展示しています。持ち主の大切な思い出など、モノをめぐるストーリーもあわせてご紹介します。

大宜味村出身の写真家、平良孝七氏が撮影したひめゆり学徒たちの写真も展示しています。資料館づくりが始まった 1981 ～ 1985 年頃に撮られた写真が中心です。2004 年のリニューアルの際にも展示し、今回 17 年ぶりの開催となります。2021 年 9 月 20 日(月)まで開催しています。

沖縄戦で亡くなった父の形見となった辞典

平良孝七氏が撮ったひめゆり学徒たち

New!!『ひめゆり平和祈念資料館　ブックレット』

新しい展示の内容を詰めこんだ『ひめゆり平和祈念資料館　ブックレット』を制作し、販売しています。写真やイラストなどビジュアルを中心に、エッセンスを抽出し、展示をたどることができる本です。

通信販売も行っています。詳しくは当館までお問い合わせください。

＊ A5 版　48 ページ　フルカラー　＊ 550 円（税込）

資料館トピックス

◆沖縄県主催　「ぴーすふるシンポジウム」に館長登壇

2020 年 11 月 21 日、普天間朝佳館長が、沖縄県主催の「ぴーすふるシンポジウム」（於：東京国際フォーラム）に登壇いたしました。「ぴーすふるシンポジウム」は、沖縄県が、沖縄平和啓発プロモーション事業として行っている「御万人ぴーすふるアクション」の事業のひとつです。

第 10 回沖縄平和賞を受賞した認定 NPO 法人国際協力 NGO センター事務局長若林秀樹氏が「市民の力を解き放ち、共に生きる社会を共に創る」と題して特別講演を、普天間が「ひめゆり平和祈念資料館の次世代継承」と題して招待講演を行いました。第 2 部では講師 2 人と、琉球大学准教授の山本章子氏、ぴーすふるメッセンジャーの金城和希氏の 4 人によるパネルディスカッションが行われました。

次世代への継承の重要性や継承における課題などについて、それぞれの立場で議論を交わし、広く発信する貴重な場となりました。シンポジウムの全文は、「御万人ぴーすふるアクション」のホームページよりご覧頂けます。https://umanchu-peaceful.com/2021/01/29/70/

◆第 41 回　沖縄タイムス出版文化賞　特別表彰受賞

2021 年 1 月 12 日、「第 41 回　沖縄タイムス出版文化賞　特別表彰」を受賞いたしました。

開館以来、『感想文集 ひめゆり』やひめゆり平和祈念資料館資料集 1 ～ 6、企画展や特別展などの図録など、ひめゆり学徒隊や全学徒についての調査研究を行い、成果を刊行し続けてきたことが「質の高い出版活動を長年にわたって続け、沖縄の出版文化に大きく貢献した」と評価され、受賞の運びとなりました。

普天間朝佳館長は受賞への感謝とともに「来館者の疑問や関心に応えることを意識して、元ひめゆり学徒と戦後生まれの職員が力を合わせて出版活動に取り組んだ」と述べました。コロナ禍の厳しい状況が続くなかで、当館の 30 年余にわたる蓄積が評価され、職員一同大きな励みとなりました。

受賞式での表彰状授与

◆「第 3 回 “ ひめゆり ” を伝える映像コンテスト」選考結果のお知らせ

2021 年 2 月 9 日、「" ひめゆり " を伝える映像コンテスト」の選考委員会を開催しました。フリーディレクターの仲松昌次氏、映画監督の宮平貴子氏、ナレーターの諸見里杉子氏の 3 人による厳正な選考の結果、残念ながら、2020 年度は、該当作品なしとなりました。ご応募いただいた皆さま、ありがとうございました。コンテストは今年度も開催予定です。

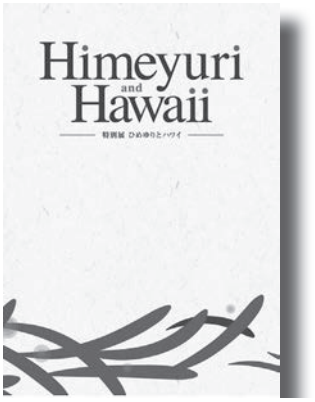
選考委員会の様子

◆「特別展　ひめゆりとハワイ」今秋開催

ひめゆり平和研究所では、2019 年より「沖縄戦・ひめゆり学徒隊の歴史を海外に伝える展示プロジェクト」を進めています。今年度は、ひめゆり学徒隊やひめゆりとハワイの関わりについて紹介する展示会を、ハワイで開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症により海外での実施が困難となりました。

海外での開催は一旦見送りますが、当館で、「特別展　ひめゆりとハワイ」を開催いたします。ハワイに渡ったひめゆり学徒、ハワイで生まれた引率教師親泊千代子先生やひめゆりの塔の敷地を寄付したハワイ二世のハリー・儀間真一さんについてなど、ひめゆりとハワイの関わりを紹介する展示会です。

開催予定は、今年の秋、2021 年 10 月 1 日から 2021 年 2 月 27 日までです。多くの皆さまのご来館お待ちしております。（本事業は、「令和 2 年度　沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業」の採択事業です。）



展示の内容を収録した図録も販売予定

2021（令和 3）年度のイベント・事業

当財団では、今年度、下記の事業およびイベントを計画しています。

○イベント

・夏休み親子戦跡フィールドワーク（夏頃予定）　・ガイド向け講習会（日程未定）

○事業

1．ひめゆり平和祈念資料館の管理・運営事業

・開館 30 周年記念リニューアル（2021 年 4 月 12 日）

・リニューアル特別展「モノが運ぶ物語（ストーリー）」「平良孝七が撮ったひめゆり学徒たち」

（1）教育普及　（2）ひめゆり学徒と沖縄戦の資料収集・整理保存・調査研究

（3）ひめゆりの塔の管理及び慰霊祭の挙行　（4）その他

2．ひめゆり関連戦跡壕の調査・保存・活用事業

3．ひめゆり平和研究所

・沖縄戦・ひめゆり学徒隊の歴史を海外に伝えるプロジェクト in ハワイ（3 年目）

・「特別展　ひめゆりとハワイ」（2021 年 10 月 1 日～ 2022 年 2 月 27 日）

・第 4 回 “ ひめゆり ” を伝える映像コンテスト

○出版

『ひめゆり平和祈念資料館　ブックレット』（2021 年 4 月 12 日発行）

『感想文集 第 32 号』『年報　第 32 号』「資料館だより」第 67・68 号

『開館 30 周年記念誌』（2021 年夏頃）

相思樹

展示リニューアル後にいただいた声

学芸員　古賀徳子

ひめゆり平和祈念資料館が 4 月12日にリニューアル・オープンし、1 か月が経ちました。新型コロナの影響で来館者は多くありませんが、毎日のように、資料館とつながりのある方や知り合いから「見に来ました」と声がかかります。感想を尋ねると、誰もが「明るくなった」、「わかりやすくなった」、「よかった」と笑顔で答えてくれます。そこで、重ねて質問したり、寄せられた感想文を読んだりして、その言葉の意味を分析しました。

「明るくなった」は、照明の明るさだけでなく、生徒の笑顔の写真などによって、展示全体の印象が明るくなったという意味です。「わかりやすくなった」には、①文章が整理されて読みやすくなった、②イラストや写真、映像など「目で見てわかる」ものが増え、文章を読む前に、展示のあらましが分かるようになった、③展示全体のストーリーがつながり、ひめゆり学徒が置かれた状況や気持ちを理解することができた、などの意味が混ざっていて、全体的にわかりやすくなったという評価です。「よかった」は、①体験者がつくった展示をどう変えるのかと心配していたけど、若い世代や子どもたちに伝わる展示になってよかった、②生徒の遺影、証言本や証言映像が残っていて安心した、という両方の意味です。いい展示ができてよかったね、と一緒に喜んでくれていると感じます。

新型コロナで厳しい状況ですが、資料館に期待し、応援してくださる方々の声に、前に進む力をいただいています。

統計に見る 2020 年度

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による 73 日間の臨時休館や、全国的な修学旅行の延期やキャンセルの余波を受け、入館者数が大幅に減少。前年度比で **86％の減少**となった。

1．入館者状況

①有料

＊ 2020 年度入館者数　**66,532 人**

2019 年度 491,345 人より**－ 424,813 人**
うち外国人 543 人、前年比－ 5,113 人

＊開館以来 32 年間で 32 番目の入館者数。平均入館者：6,048 人／ 1 か月、238 人／ 1 日。
慰霊の日、台風休館 1.5 日、感染防止のための休館期間（4/10-5/31，8/8-8/28 の 73 日）およびリニューアル工事のための休館（3/22-3/31）を除く 280 日。
＊開館以来 32 年間の累計は 23,282,124 人で、年平均入館者数は 727,566 人、 1 日平均は 2,033 人。
1989 年度の開館期間は 9 か月間。

②無料

3,753 人

＊団体（県内学校団体・特別支援学校・一般団体含む）	19 団体	575 人
＊学校団体引率者		1,014 人
＊修学旅行下見	518 校	583 人
＊個人免除者（身障者手帳等提示の方）		1,079 人
＊慰霊の日（6 月 23 日）		502 人

※県内学校団体は入館料免除のため、総入館者数には含まれない。ただし、学校団体の総数及び人数には含まれる。

2．学校団体入館状況

2020 年度の修学旅行等学校団体入館数は 121 校、15,803 人。2019 年度の 1,838 校、246,049 人に比べ、**－ 1,717 校、－ 230,246 人**。前年度比（人数）**約 94％の減少**。全体の割合としては、小学校が 11 校で 9％、中学校が 23 校で 19％、高校が 87 校で 72％。

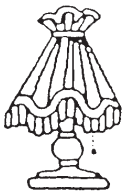
ご寄付ありがとうございました

当館は、公益財団法人ひめゆり平和祈念財団が運営する民間立の博物館です。入館料を基盤として運営しています。1989 年の開館以来、おかげさまで、2300 万人以上の入館者をお迎えすることができました。

しかし、昨年来の新型コロナウイルス感染症の影響により入館者が大幅に減少し、財政的にも厳しい状況となっております。当館の状況を報道等で知った皆さまから、2020 年 10 月以降 2021 年 4 月までの間に、175 件、3,221,300 円の温かいご芳志が寄せられました。この場をお借りして感謝申し上げます。

これからも、沖縄における平和学習の拠点として存続していけるよう、努力してまいります。皆さまのご支援、どうぞよろしくお願いいたします。

寄付金払込口座
郵便局の郵便振替用紙（青色）をご利用ください。
振　替　口　座：02070-7-38755
口　　座　　名：ひめゆり平和祈念資料館
通信欄に「寄付金」とご明記ください。
クレジットカード（VISA ／ MASTER）決済も可能です。
詳しくは右記ＱＲコード、ホームページにてご確認ください。



本　棚

仲程　昌徳

資料集 4　「沖縄戦の全学徒隊」　ひめゆり平和祈念資料館

ひめゆり平和祈念資料館資料集 1『ひめゆりの戦後』が刊行されたのは、2000 年 12 月 1 日である。そのあと 2002 年 3 月 1 日には資料集 2『ひめゆり学園』、次いで 2004 年 12 月 1 日には資料集 3『ひめゆり学徒隊』、そして 2020 年 6 月 23 日には資料集 4『沖縄戦の全学徒隊』の「第 3 版・改訂版」が刊行されている。

『沖縄戦の全学徒隊』の初版が出たのは 2008 年 6 月 23 日、第 2 版が出たのは 2011 年 6 月 23 日で、2020 年には改版し、版を重ねている。それは、同書を求める人が多いということによるだけでなく、あらたにわかったことなどが出てきたことによっていた。

例えば、第 2 版では通常用いられていた部隊名の記載を、正式名称に正していること、戦没者氏名の誤記を訂正するとともに、追加を行っていること、そして 3 版では、語句の訂正およびあえて項目をたてるまでもない「動員数・死亡者数の根拠」「動員数の引用資料」「死亡者数の引用資料」「実物資料リスト」等や難点のある「アクセスマップ」等を削除して改版していたことがわかる。

『沖縄戦の全学徒隊』は、資料館が、いかに正確な戦時記録を作ろうとしているかを伺わせるものであったし、それはまた、戦場に出て行った学徒たちへの哀惜の念がいかに強いものであるかを示していた。

資料館は、他でもなく、ひめゆり同窓会、とりわけ戦場に動員され、九死に一生を得たいわゆる「ひめゆり学徒たち」によって運営されてきた。それだけに、「ひめゆり学徒たち」だけの展示に終始しているように思われがちである。確かに、「ひめゆり学徒たち」が中心になっているといっていいが、彼女たちは、資料館を「ひめゆり」だけのものとは考えていなかった。

資料館が開館 10 周年記念イベントで「『沖縄戦の全学徒たち』展」を企画したのはそのことを端的に示している。

当時、館長であった新垣博子が「今まで私達が心にかけてまいりましたのは、『沖縄戦で犠牲になったのは、ひめゆり学徒だけではなく、沖縄戦に参加した全学徒たちについて忘れてはならない。このことをぜひ多くの人々に知ってもらいたい』ということでした。そのことにつきましては、ひめゆり学徒隊を引率された仲宗根政善先生のご遺志でもありました。」と述べている所に、よく表れていよう。

「『沖縄戦の全学徒たち』展」が、資料館で開催されたのは、1999 年 6 月 20 日から 7 月 4 日にかけてのことである。ひめゆりは、98 年 3 月初めに、各同窓会へ全学徒展を開催する趣旨と協力依頼の文書を送ると同時に、各同窓会を訪問して資料提供を呼びかけている。そして集まった資料を展示し、各同窓生の参加を得てはじまった展示会は、多くの観客を集め、それぞれに強い衝撃を与えた。

資料館は、その記録を『「沖縄戦の全学徒隊たち」展　報告書』として、2000 年 3 月 31 日に刊行している。『報告書』は、各同窓生の展示会開催後の感想からはじまり、六つの章と「慰霊の碑」で構成されていて、沖縄戦の実情が、よくわかるものとなっていた。そしてその『報告書』をもとにして構想されたのが資料集 4 の『沖縄戦の全学徒隊』であった。

『沖縄戦の全学徒隊』は、「沖縄の 21 の学徒隊」それぞれについて、一様に「学校の沿革・概要」から「戦争への道」「戦時下の動向」「証言」と続け、それに「各学徒隊慰霊碑と戦没者名」を添えて二本柱にして、「沖縄の近代教育」やその制度、「動員命令について」や「学徒隊関連法規」等をおさめた「資料編」を加え、学徒隊の全貌を伝えるものとなっていた。

サトウキビの花を表紙にした初版、２版の A4 を、３版では B5 版にし、表紙を男子学徒たち、裏表紙を女子学徒たちの集合写真にしていて、目を引き付けるものとなっている。表紙一つとってもそうだが、改版を行うのは、それぞれの時期の思いが込められている。

戦争についてもそうであるように、その前線にいて多大な犠牲を払った男女学徒隊のことが、すっかり記憶から抜け落ちてしまいそうな事態になっているだけに、『沖縄戦の全学徒隊』は、いよいよ大切な一書となるはずである。「過去に目を閉ざす者は結局のところ現在にも盲目となります」(『荒れ野の 40 年』)といったのはヴァイツゼッカーであるが、「盲目」にならないためにも座右の書としてほしい一冊である。

ひめゆり平和祈念資料館　ご利用案内

◆ 開館時間、料金、アクセス

1．入館受付：午前9時～午後5時（閉館は午後5時 25 分）　**2．休館日**：年中無休

3．入 館 料：①大人 450 円　②高校生 250 円　③小・中学生 150 円

団体（20 名様以上一括払）①大人 400 円　②高校生 200 円　③小・中学生 110 円

※ 2021 年 4 月 12 日より、入館料が改定されました。

4．交通案内

【路線バス】旭橋・那覇バスターミナルから［89 糸満線］で 約 30 分、糸満バスターミナルで［82 玉泉洞糸満線］に乗り換え 約 15 分、ひめゆりの塔前下車

【モノレール・路線バス】モノレール那覇空港駅から赤嶺駅まで約4分、赤嶺駅前（糸満・豊崎向け）バス停で［89 糸満線］に 乗車し約 20 分、糸満バスターミナルで［82 玉泉洞糸満線］に 乗り換え約 15 分、ひめゆりの塔前下車

【車】那覇空港より約 30 分

◆ 団体のご見学について

新型コロナウイルス感染症対策のため、当面の間、**見学は予約制となります。必ず事前にご予約ください。**

◆多目的ホールご利用のご案内

ひめゆり学徒隊や沖縄戦について学ぶための平和講話（約 40 分）、ビデオ視聴（証言ビデオ「平和への祈り―ひめゆり学徒の証言」約 25 分、アニメ「ひめゆり」30 分）を事前予約制で承っております。ご予約は、資料館ご見学の団体に限ります。
ご予約時間は以下のとおりです。お電話にてホールの空き状況を確認後、ＦＡＸかメールにて申込書をお送り下さい。

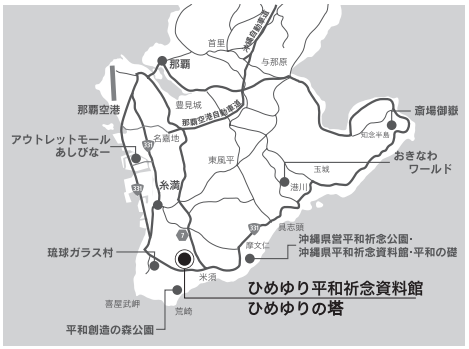
【講話 or ビデオ】　9：00　10：00　11：00　12：00　13：00　14：00　15：00　16：00

※年末年始（12 月 30 日、31 日、 1月1日～3日）・旧盆（旧暦7月 13 日～ 15 日）はビデオ視聴のみ受付可能です。
慰霊祭前後（6月 21 日～ 24 日）は、ビデオ上映会のため、予約はできません。

※ホールの収容人員は約 200 人（席）です。

※多目的ホールは講話及びビデオ視聴以外の目的（セレモニー等）には利用できません。

※予約時間に遅れた場合、予約状況によってはキャンセルさせて頂くこともございます。

※現在、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら開館しております。多目的ホールのご利用方法につきましても、感染症の拡大状況に応じて変更がある場合がございます。詳しくは、直接お電話にてお問い合わせください。

ひめゆり平和祈念資料館 資料館だより 第 67 号
2021（令和 3）年 6 月 23 日発行
編集・発行：公益財団法人沖縄県女師・一高女ひめゆり平和祈念財団立
ひめゆり平和祈念資料館
〒 901-0344　沖縄県糸満市字伊原 671-1
☎ 098-997-2100　fax098-997-2102
HP：http://www.himeyuri.or.jp/
Facebook：https://ja-jp.facebook.com/HIMEYURI.PEACE.MUSEUM/